

2026 年 10 月 23 日

スマートソーラー株式会社

住宅用太陽電池「スマソラ黒シリーズ」を本格展開

寄棟屋根の空きスペースを発電に。

防眩型で、北面を含む 4 面の活用へ。



スマートソーラー株式会社は、住宅用太陽電池モジュール「スマソラ黒シリーズ」の出荷を 2026 年 10 月から開始し、本格展開します。オールブラックの外観と 4 つのサイズにより、寄棟屋根の棟側・袖側・コーナーの空きスペースを活かし、住宅の太陽光発電の搭載容量を高めます。

防眩型も 3 機種をラインナップし、それらを組み合わせることで、周囲への反射光に配慮しながら、設置条件に応じて従来設置が困難であった北面を含む 4 面への設置を可能にします。さらに、小型サイズにより寄棟屋根の搭載設置も最適化可能となります。両面ガラス構造と 30 年の出力保証により、屋根の有効活用から長期利用までを支えます。

屋根を活かす	周囲に配慮する	長く使う
4 サイズで柔軟に配置 モデル比較で搭載容量約 63%増 期待！	防眩型 3 機種を展開 北面を含む 4 面の活用を提案	両面ガラス構造 30 年の出力保証

※容量比較は本資料のモデル条件に基づく例です。発電量の増加率を示すものではありません。北面設置の可否・経済性、保証の適用は個別条件によります。

寄棟屋根の「使える面積」を広げる

メインモジュールだけでは配置しにくい寄棟屋根にも、スリム・スリム-S サイズにて最適配置！横置き配置を基本に、屋根形状に合わせて搭載容量と外観の両立を図ります。



図1：従来型メイン 460W による 3 面設置と、防眩型による 4 面設置の比較イメージ。

比較条件	従来型：3 面設置	防眩型：4 面設置
設置面	南・東・西	南・東・西・北
モジュール構成	メイン 460W × 12 枚	スリム 300W × 24 枚 スリム S225W × 8 枚
搭載容量（公称最大出力の合計）	5.52kW	9.00kW（約 63%増）

※同一の寄棟屋根（平面寸法 10m×8m、4 寸勾配）を想定した配置例。軒先・棟・隅棟から 350mm 以上、モジュール間 30mm の離隔を確保する条件。増加分には小型化と北面追加の効果を含みます。実際の設置枚数・容量は屋根寸法、構造、法令、施工条件等により異なります。

切妻屋根でも棟部・袖部の「あと少し」を実現。コーナー部にはスリム-S パネルですっきり設置！

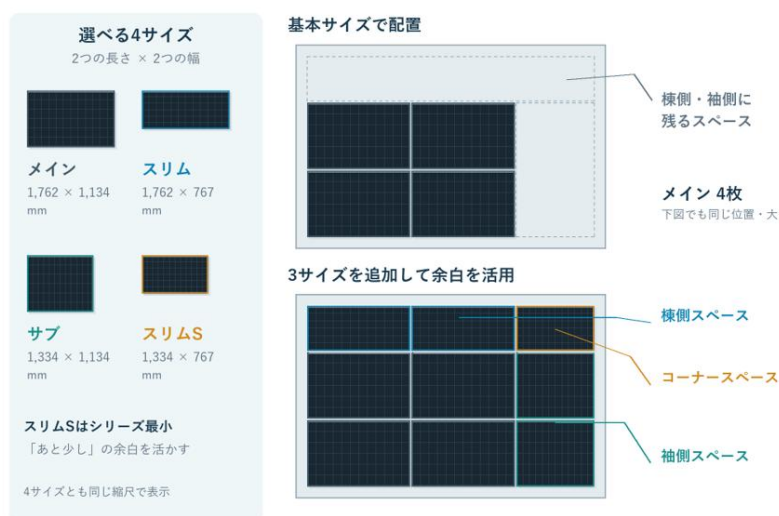


図2：4 サイズの組み合わせにより、屋根形状に合わせた配置を提案します。

防眩ガラスで、強い反射光を抑える

住宅密集地では、屋根からの反射光にも配慮が必要です。スマソラ黒シリーズの防眩型は、ガラス表面の微細な凹凸により反射光を分散。特定方向に集中する強い反射光を抑え、周辺環境に配慮した設置を提案します。

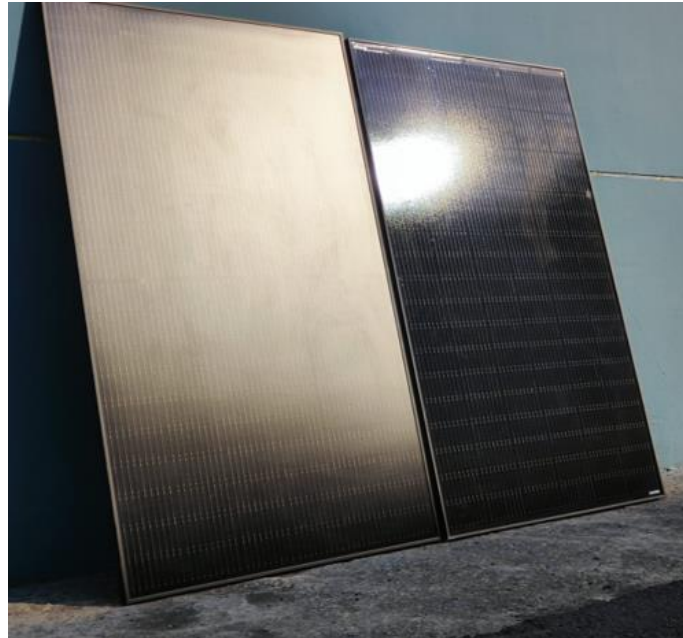
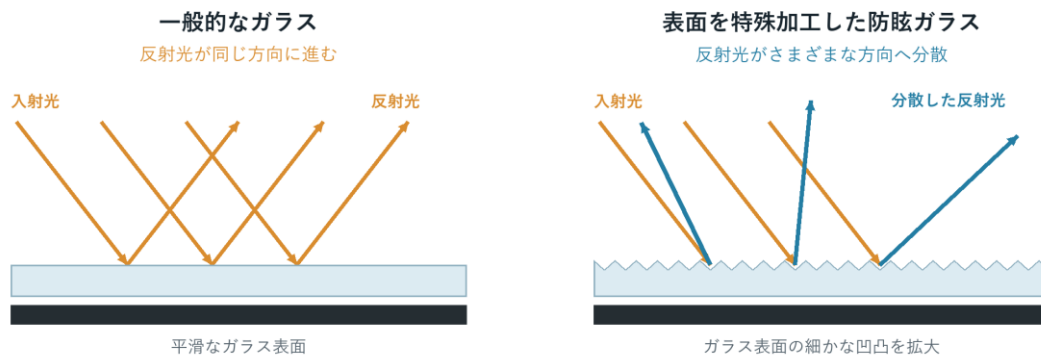


図3：パネル比較写真：左＝防眩型、右＝通常型。

反射光を一方に集中させず、分散させる

防眩ガラスが反射光を分散する仕組み



光を分散し 一方に集中するまぶしさを抑える

模式図のため 凹凸の大きさや光の強さは実際と異なります。
防眩仕様は反射をなくすものではありません。設置条件や見る角度により見え方は変わります。

図4：防眩の仕組みを示す模式図。光の進行方向や強さは説明用のイメージです。

防眩型は、サブ 340W・スリム 300W・スリム-S225W の3機種をラインナップ。屋根の形状や反射光の影響を確認しながら、北面を含む配置の選択肢を広げます。

※防眩は反射光を完全になくすものではありません。周辺建物との位置関係、屋根方位・勾配、季節・時間帯等によって影響が異なるため、事前の検討が必要です。

両面ガラス構造と、30 年の出力保証

長く使う住宅設備だからこそ、太陽電池モジュールの構造と保証にも配慮。スマソラ黒シリーズは両面ガラス構造を採用し、30 年の出力保証で長期利用を支えます。

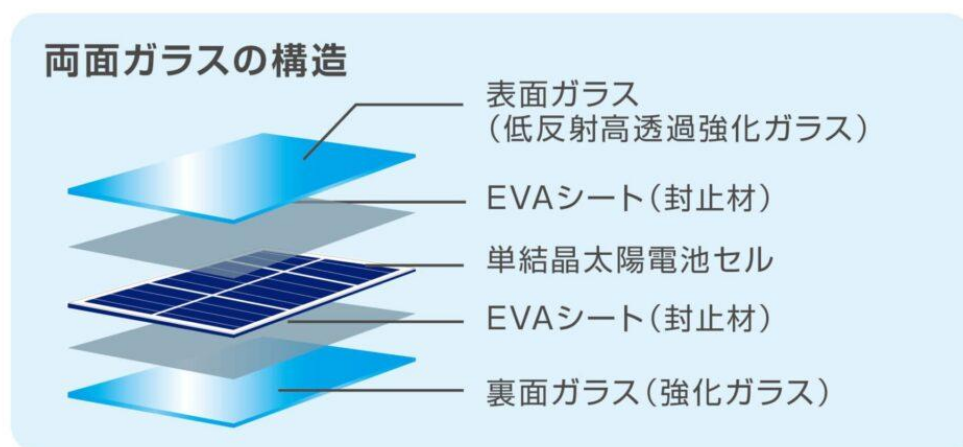


図5：両面ガラス構造のイメージ

※30 年保証は太陽電池モジュールの出力保証です。保証出力、起算日、適用条件、免責等はメーカー保証規定によります。年間発電量や経済効果を保証するものではありません。

積雪地域にも、設置条件に応じて対応

サブ 345W（SOL-STC345BB-A）は、指定の支持・取付条件により、積雪 2.5m への対応を提案します。地域の積雪荷重や建物・架台の強度を確認し、設置場所に合わせた設計が必要です。

※積雪 2.5m 対応は上記型式の指定施工条件に限ります。全機種・全地域で一律に適用されるものではありません。積雪の密度、地域の設計荷重、支持方法等を含め、設計・施工資料による確認が必要です。

屋根・建物に調和する、オールブラック



図6：黒シリーズ設置イメージ

黒を基調とした外観で、住宅の意匠や街並みとの調和を目指します。景観に関する条例・地域ごとの要件は、設置計画に応じて確認が必要です。

標準 4 サイズ・防眩 3 機種 of ラインナップ

屋根形状や設置面に合わせて、メイン・サブ・スリム・スリム S を選択。防眩型を含む 7 機種で、住宅ごとに適した配置を提案します。

タイプ／名称	公称最大出力	型式	外形寸法 (mm)
通常型 メイン	460W	SOL-STC460BB-48A	1762×1134×30
通常型 スリム	305W	SOL-STC305BB-32A	1762×767×30
通常型 サブ	345W	SOL-STC345BB-A	1334×1134×30
通常型 スリム S	230W	SOL-STC230BB-24A	1334×767×30
防眩型 スリム	300W	SOL-STC300BBAG-32A	1762×767×30
防眩型 サブ	340W	SOL-STC340BBAG-A	1334×1134×30
防眩型 スリム S	225W	SOL-STC225BBAG-24A	1334×767×30

※公称最大出力は標準試験条件（STC）での値です。外形寸法は長辺×短辺×厚さ。詳細は各製品のデータシートをご確認ください。

配置検討から提案までを支援

4 サイズの組み合わせを活かした提案を支援するため、設計・見積ソフトを準備しています。屋根ごとの配置検討を通じて、搭載容量や外観をわかりやすく伝える提案を目指します。



図 7：設計・見積ソフトの説明用イメージ

実際の画面・機能・提供時期を示すものではありません。

クールネット東京による防眩型ガラス製品にて上乗せ補助認定

防眩型 3 機種は、東京都の令和 7 年度「優れた機能性を有する太陽光発電システム」において、防眩型（ガラス製品）の認定登録されております。対象製品の導入は、東京都の補助制度における上乗せ補助の対象となります。

製品	型式	認定番号
防眩サブ 340W	SOL-STC340BBAG-A	KPV761100
防眩スリム 300W	SOL-STC300BBAG-32A	KPV761108
防眩スリム S225W	SOL-STC225BBAG-24A	KPV761118

認定期間：2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日。認定情報および制度案内は 2026 年 10 月 21 日時点の確認内容に基づきます。

補助制度の適用について

令和 8 年度の東京都「家庭における太陽光発電導入促進事業」では、防眩型（ガラス製品）の上乗せ補助単価は 2 万円／kW です。補助額は、制度上の「機能性太陽光発電システム相当出力」を用いて算定されます。

機能性太陽光発電システム相当出力＝制度上の太陽光発電システム出力×（対象認定モジュールの公称最大出力合計÷全モジュールの公称最大出力合計）。搭載容量に単価をそのまま乗じた額とは一致しない場合があります。補助上限等も適用されます。

製品の認定は、個別の設置工事への補助金交付を保証するものではありません。都内住宅への未使用品の新規設置、申請・契約・工事の時期、申請者、施工業者および手続代行者等の要件を満たす必要があります。申請前に、最新の募集要項と対象外措置に関する公表情報をご確認ください。

制度案内：https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/fam_solar/r8/

対象外措置等の公表情報：

https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/adiabatic_solar/notice_misconduct/

本件に関するお問い合わせ

スマートソーラー株式会社 総務部 広報担当

TEL：03-5623-2345 E-mail：pr@smartsolar.co.jp

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 13 番 1 号

<https://www.smartsolar.co.jp/>

本資料の画像・模式図・配置例は説明用です。製品の仕様・保証および施工条件は、最新の仕様書・保証規定・施工資料をご確認ください。